

誰もが暮らしやすい 地域づくりに向けて

渋谷区自立支援協議会⑤ ～どう変える?渋谷の福祉～

渋谷の動き

1. 協議会全体会開催

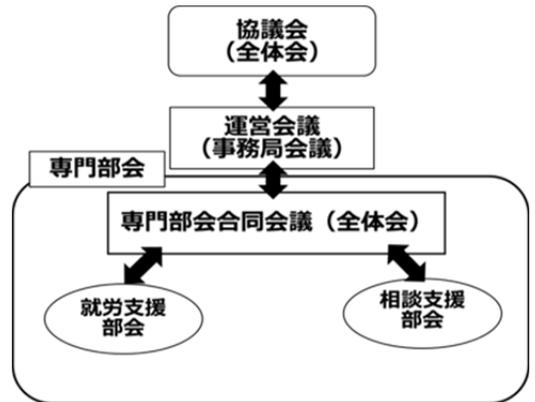
7月31日(水)、渋谷区役所にて平成25年度第1回の自立支援協議会全体会が行なわれました。会長の高橋幸三郎氏(東京家政学院大学教授)の挨拶、事務局として渋谷区障害福祉課からの概要説明などの後、6月5日に行なわれた専門部会合同会議の報告やその後の進捗状況が伝えられました。傍聴席にも、多くの人たちが集まりましたが、まだまだ協議会自体が立ち上がったばかりで、就労支援、相談支援の各専門部会からの話も、議論というよりは、進捗の報告に終始している感は拭えませんでした。各事業所の枠や、知的、精神、身体の三障害の違い、さらには、行政、民間、医療、教育などの分野を越えて色々な人達が渋谷の福祉をもっと良くしようと集まる自立支援協議会は、大変大きな可能性を持っていると思います。現場の私たちも注目しています。

2. 専門部会も動き始めた!

次ページの組織図にある通り、全体会の下に、実働機関として現場職員による「専門部会」があります。この専門部会は就労支援、相談支援の二つに分かれており、さらにその中で各担当に役割が分

昨年末に渋谷区自立支援協議会(以下協議会)が正式に発足し、就労、相談の各専門部会も動き始めました。年度が変わり、7月31日には平成25年度第1回の全体会が開かれました。より良い渋谷に向け、具体的な取組のため、各機関の連携が求められています。

かれています。私が参加している就労支援専門部会は、「一般就労作業部会」と「福祉就労作業部会」に分かれ、それぞれが今年度課題とするテーマの絞り込みを行なっています。メンバーは主に作業所、行政、就労支援機関のスタッフですが、



【渋谷区自立支援協議会の体制】

今後は企業や、教育機関などを巻き込んで、障害のある人たちの働く場をどう広げていくかを議論していく予定です。それぞれ大変忙しいメンバーばかりで、スピード感を出すのは大変難しいですが、こうした「共に考える、議論する場」を通して、日常的に生きるネットワークを作る一歩としたいと思います。相談支援専門部会は、より具体的なケース会議を通して各機関の連携や課題の抽出を目指す予定です。次回の自立支援協議会全体会は10月15日。より活発な議論の場になるよう準備しています。

有志の会の動き

1. 第2回セミナーから

一方、ぱれっとと渋谷なかよしぐるーぷの有志で作った「渋谷の福祉を考える有志の会」(以下有志の会)では、6月に行なった第2回セミナー(前回つうしん参照)のまとめから、「安心、安全」「本人主体」「柔軟性」というニーズのキーワードを抽出し、そのテーマについて議論する中で次回セミナーの内容検討を行いました。その結果、第3回セミナー「3つの事例から障害のある人たちの暮らしの形を考える」が、9月28日(土)午後2時～4時半に幡ヶ谷社会教育館で開催されることが決定しました。詳細は次ページのチラシをご覧ください。

2. 事例報告&

グループディスカッション

セミナーの内容を検討するにあたり、上で述べた3つのキーワードを、有志の会で、さらに精査しました。その結果見えてきたのは、「親が自分の子供を安心して任せられる環境」というニーズ、つまりこれは、将来を考える上で、家族が抱える不安の声なのではないかという見方でした。そして、その環境を作っていく上で、柔軟な対応であったり、本人の気持ちを汲む、自己決定支援が求められているのではという意見が出されました。だとすれば、まずはそれをしっかりと受け止めた上で、親も含めて、どのような考え方で取り組みを進めて行けば、真の安心、安全につながるのかを皆で議論する必要があります、この点を次回セミナーの

テーマにしようということになりました。そしてこういった課題はおそらく、多くの地域で直面しているものであろうという考えから、先駆的事例として、次の3団体を選び、8月に取材を行ないました。

①杉並育成園『すだちの里すぎなみ』
(杉並区：社会福祉法人東京都育成会)

②『みんなの家』
(横浜市：NPO 法人みんなの家)

③『ほおずきの会』
(台東区：NPO 法人ほおずきの会)

これらの3団体は、運営主体だけではなく、地域性や、発展過程も違いますが、どの取材も非常に興味深く、共通する思いを含めて、様々なキーワードや考え方が提示されました。これからの渋谷の福祉を考える上でも大変重要なヒントが隠されているように思います。9月28日のセミナーでは、有志の会メンバーから、これらの事例について報告をし、その後感想を含めたグループディスカッションの時間をたっぷり取ります。ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

今後の動き

セミナー企画と並行して、有志の会の位置づけや今後の動きも検討しています。自立支援協議会の活動が本格化していく中、私たちにできることは何か、今一度皆で整理していこうと思っています。この特集は今回で一旦終了となりますが、セミナー報告も含めて、協議会、有志の会の動きはその都度報告していきます。

認定NPO法人ぱれっと事務局長 南山達郎

第3回セミナー

3つの事例から障害のある人たちの暮らしの形を考える

～ どう変える？ 渋谷の福祉 ～

◆2013年9月28日(土)14時～16時30分(開場13時30分)

◆幡ヶ谷社会教育館(住所:渋谷区幡ヶ谷2-50-2)

※当日保育及び手話通訳のご用意はありません

◆参加対象と人数:40人

渋谷区内の障害者団体職員、親、本人、渋谷区民、その他関心のある方

◆参加費:200円(資料代、お茶菓子代)

◆申込み締め切り:9月20日(金)

◆主催:渋谷の福祉を考える有志の会(呼掛け人:浦野耕司・谷口奈保子)

第1回目のセミナー(2月)では、渋谷の障害者福祉の現状について学び、続く第2回セミナー(6月)では、グループディスカッションで暮らしのニーズについて語り合いました。グループディスカッションからは、障害のある人のニーズにみられる共通のキーワード「安心・安全」、(サービスの)「柔軟性」、「自己決定」(の支援)が見えてきました。

セミナー実施に先立ち、見いだされたキーワードの具体的なかたちを検討するために、先駆的な実践をおこなっている3つの団体の見学、取材を有志の会でおこないました。

第3回のセミナーでは、この事例報告と、グループディスカッションを通して、渋谷で暮らす障害のある人たちが、暮らしのなかで上記のキーワードを実現していくための具体的な方法について皆さんと意見交換を行ないます。

【調査した事例】すだちの里(杉並区:社会福祉法人東京都育成会)

みんなの家(横浜市:NP0法人みんなの家)ほおずきの会(台東区:NP0法人ほおずきの会)

参加申し込み:下記に記入の上、FAX(03-3409-3790)にお送り下さい

ふりがな *氏名	
*所属(団体名)	
*連絡先	

お問い合わせ:03-5766-7302 ぱれっと事務局 担当南山まで